

令和7年度第2回教育課程編成委員会 議事録

- 【日時】 令和7年12月2日(火) 9:50 ~ 11:15
【場所】 ころ医療福祉専門学校壱岐校
【委員】 壱岐市社会福祉協議会 会長代理 瀬川 康夫 様
【委員】 壱岐市立老人ホーム 所長 米倉 慶三 様
【委員】 特別養護老人ホームハッピーヒルズ 施設長 永田 信弘 様
【委員】 ころ医療福祉専門学校壱岐校 校長 後藤 久志
ころ医療福祉専門学校壱岐校教育部 野田比呂恵
【事務局】 ころ医療福祉専門学校壱岐校学生部 村上 健太

議 題

- (1) 令和8年度教育課程について
- (2) 令和7年度合同就職面談会(施設訪問)について
- (3) 次年度の志願状況
- (4) 国家試験に向けた取組について
- (5) 事業報告並びに今後の予定について
- (6) 卒業生の進路について(卒業生の進路)
- (7) 今後の課題について(総合的な意見を含む)
- (8) 編成委員よりのご意見・その他

内 容

(1) 令和8年度教育課程について

配付資料に基づき、ころ医療福祉専門学校壱岐校教育理念について確認。

- (校長) 日本人学生はほぼ全員が地元の施設に就職しますので、壱岐市における介護人材の確保に貢献できるように人材の育成に努めています。時数確保においては、2年間で1850時間となっていますが本校では1964時間を確保してあり規定はクリアしています。

少子高齢化に伴う市内の介護人材の確保は近年の壱岐市の喫緊の課題であるが、その対策として今年度より、留学生はもちろん各施設においても、医療福祉、ビジネス、ITを駆使して貢献できる多職種連携型の人材、すなわち複合スキル型DXエッセンシャルワーカーの育成を行うためのプログラムに協力することになっています。島嶼部としては、壱岐、奄美大島、石垣島などが参加になっています。

- (委員) 地域の人口が減少する中で、今後は働いている一人一人に対するより高いスキルが求められるのは間違いないと思います。特に壱岐などの島嶼部では深刻な問題になってくると思います。そういう意味で複合型スキル型エッセンシャルワーカーとは、どんなことを追加して教えていくかは悩むところですね。貢献できるスキルということも今後考えていくのが大切になりますね。

(2) 令和7年度合同就職面談会（施設訪問）について

(校長) 今年の合同就職面談会には、日本人5名、留学生2名の計7名が参加いたしました。

壱岐市内にある唯一の専門学校として、介護福祉士の国家試験に壱岐市内の学生全員を100%合格させ送り出してあげたいです。卒業生全員に、壱岐市内の関連施設への就職を保証してやるのが大きな壱岐市への貢献につながると考えています。

(委員) 今年度卒業する日本人5名のうち、1名は決まっていると思いますが、残る4名の進路は現時点で決まっているのでしょうか？

(校長) まだ決まってははいないです。これから最終決定をするように聞いています。誰とコンタクトを取りたいと指名されれば仲介はしています。しかし、個別の面談での強引勧誘は学生が牽制しますので注意が必要です。

(委員) どのようにアプローチしたらいいですか？

(校長) 学校の方に連絡していただければ、学生に伝えます。出来れば授業外で行ってもらうことが望ましいと思います。朝も授業前なら構わないと思います。

(委員) 合同就職面談会の際に、募集要項をお渡ししていたのですが。

(校長) 決めるのは生徒本人であり、職場見学をしたら必ずそこに行かなければいけないというわけではないと伝えています。

(委員) 11/27までが申し込み期間だったのですが、国家試験の終了後でも国家試験に落ちたとしても採用は柔軟的に考えています。

(3) 次年度の志願状況について

現時点での次年度入学の予定者数については、日本人学生7名、島原校からの17名、長崎校から7名の内部留学生が入学する予定になっており、1年生は31名が決定しています。玄州会関係の入学生が2、3名いますし、日本人学生も年明けに志望する者もいますので、最終的にはもう少し増えるかもしれません。現1年生が19名いますので、次年度は今までで一番多い50名を超える学生数となります。日本人学生を7名確保できたのも大きいと思います。

(委員) 素晴らしいと思います。壱岐市の介護人材の確保につながるとよいのではないのでしょうか

(学科長) 留学生の中にも、玄州会関係と壱岐のところに就職する予定の学生が数名います。次年度入学予定の留学生7名はまだ連携施設が決まっていませんので、壱岐市内に就職する学生も出てくるかもしれません。壱岐市内の高校生の数が減少していますので、これからは留

学生の割合が増えてくると思います。

(委員) 壱岐市内での就職者が増えることは大変喜ばしいことだと思います。

(4) 国家試験に向けた取組について

(学科) 学科を中心に、模擬テストの実施、模擬テストの結果をもとにした自己分析、個人面談等による意識の向上、自己学習の実施、冬季休業中の集中補講等の指導を行っていく予定です。

別紙にもありますが、業者模試も積極的に取り入れています。2年生になった当初はA評価が少なかったのですが、回数を重ねるたびに増えてきています。年に十数回実施し、自己分析を行うことで不得意な分野の克服に努めています。冬休みは集中補講も行うように計画しています。

学生との面談で、個別指導を行い、教員も一緒に個別の対策を考えています。

(委員) 1/25 の試験の構成が変更になるとのことでしたが、順番などが変わるのでしょうか？

(学科長) 例えば、去年までは医療的ケアが午前中に実施されていましたが、今回からはパート受験になることもあり午後からになります。

(委員) 壱岐市社会福祉協議会では、実務者研修を実施しており、模擬試験も実施しました。問題も作成もしていましたが、後任の方は中央法規の模試をしていました。

(学科長) 業者模試は去年までの構成になっています。パート受験とは構成が違うと思います。

(委員) ありがとうございます。帰ったら伝えます。

(5) 令和7年度経過報告と令和8年度行事予定

(校長) 昨年度と同じように入学式や卒業式に来賓や保護者の出席を制限することなく行えるようになりました。会場が来年度は予約が取れなかったため、入学式は初めて勝本の「かざはや」で行う予定です。今年もグリーンカーテンのコンテストに参加することができ、2年連続で奨励賞をいただくことが出来ました。中学校の進路説明会にも参加させてもらっています。今年度は日本人学生の入学者は社会人1名でしたが、広報活動の甲斐があって現時点で、7名が入学予定となっています。2年生の活動もほぼ8割近くが終わっていますが、今は最大の目標である国家試験に向けて目の色を変えて勉強しています。昨年は5名の留学生が合格しましたので、今年もそれに準ずるような結果が出るように職員もしっかりサポートしています。2年生の頑張りを1年生が見ることで次年度に繋がると思っています。

(委員) 高校生が毎年少なくなっているのが厳しいとは思いますが、学校に来てもらう機会も多くなれば知名度も上がり、興味を持ってもらえるのではないかと思います。壱岐市内の介護人材確保のためにも是非頑張ってくださいと思います。最大の目標である国家試験に向けて、先生方がしっかりとサポートしていただくと学生も心強いと思います。

(6) 卒業生の進路について (卒業生の進路)

(学科長) 日本人学生についても全員壱岐市内での就職を希望しています。就職合同面談会を行ったこともあり、就職に対する意識もかなり高くなってきています。まだ就職が決まっているのは1名だけではありますが、施設の方へ見学や話を聞きに行くなど積極的に行動している学生もいます。留学生も2名は玄州会に就職が決まっています。壱岐に残りますし、残りの5名は島外ではありますが決まっています。国家試験が近くなっていますので、皆真剣に対策にも取り組んでいます。令和9年度入学には、すでに櫟会から4名が入学するように決まっています。

(委員) 合同面談会に日本人5名いましたが、残りの4名は未定ということですので個別に再度話をしてみたいのですが。

(校長) まだ決まっています。国家試験が終わってから集中して就活を行うのではないのでしょうか？指名されれば仲介はいたします。ただ、話を聞きに行ったからといって強引に勧誘されると学生も困惑しますので、そこのところはご配慮いただければと思います。

(委員) どのような方法で連絡をとったり、アプローチをしたりしたらいいのでしょうか？

(学科長) 学校の方に連絡をしていただければ、学生へ話をします。時間帯は授業外になると思います。朝も始業が11時からですので午前中でも大丈夫だと思います。

(委員) 募集要項を学生にお渡ししていたのですが、施設側も柔軟に対応するようにしています。

(校長) 決めるのは生徒本人に任せていますので、職場見学したら行かなければいけないというわけではないということは伝えたいと思います。

(委員) 募集要項にある申し込みの期限は過ぎましたが、国家試験後でも、

国家試験に不合格だったとしても採用は考えています。

(7) 今後の課題について（総合的な意見を含む）

(校 長) 年々地元の高校生が減少する中で、日本人学生を確保すること。このことは壱岐市における介護人材の確保にも大きな寄与できるとかんがえています。一定数の留学生が入学をしていますが、学校所有の寮に住ませるために人数が無制限とはいきません。留学生の数が増えてくると考えられますので、今後の課題としては留学生の住宅、アルバイト先、実習先の数をしっかり確保することだと考えています。

(8) 編成委員よりのご意見・その他

(委 員) 1段階の実習で学生が来ましたが、職員達の評価も良く、言葉使いも良かったです。レクなどにも自分たちから考えて参加をすることができました。実習記録も見やすく、きちんと書けていたとの声も多く高評価でした。

(校 長) 今回も委員の皆様方には多くの貴重なご意見をいただきました。学校としても優秀な介護人材を輩出できるように継続して指導していきます。生達の良い面を伸ばしつつ、改善すべき課題については、しっかりと具体的な方策を立てて指導します。文科省の委託事業については、カリキュラムに取り入れられるところは積極的に取り入れ、多職種連携型の人材の育成に努めたいと思います。

1月に入ると学生や職員の自己評価も行いますので、今年度の報告書としてまとめたいと思います。委員の皆様方には今後も忌憚のないご指導ご意見をいただけますようお願いいたします。

本日はお忙しい中ありがとうございました。